

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

≪試料・情報の 利用目的及び 利用方法≫	●研究の名称 慢性肝疾患の病態と Neprilysin の関連性の検討										
	●研究の対象 1)～3)のいずれかに該当する患者さんを対象とします。 1)2010年4月から2023年12月までに診療で使用する目的で血液・肝組織が採取・保存されている患者さん 2) 2010年4月から2023年12月までにC型慢性肝炎、C型代償性肝硬変、またはC型非代償性肝硬変の為に直接作用型抗ウイルス薬による抗ウイルス療法を行いC型肝炎ウイルスの持続陰性化(ウイルスが体内から排除され、血液検査の結果が陰性になることです)が得られ、下記研究に参加し血液・肝組織が採取・保存されている患者さん。										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>研究番号</th> <th>研究課題名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EG14-098</td> <td>ウイルス性肝疾患における宿主因子およびウイルス因子と病態および治療効果との関係についての検討</td> </tr> <tr> <td>E15-299</td> <td>Direct-acting Anti-viral Agents(DAAs)による Interferon free regimen の抗ウイルス効果および鉄代謝・脂質代謝・肝線維化改善効果の検討(DAAs in Hamamatsu-Study II genotype I)</td> </tr> <tr> <td>E15-300</td> <td>Direct-acting Anti-viral Agents(DAAs)による Interferon free regimen の抗ウイルス効果および鉄代謝・脂質代謝・肝線維化改善効果の検討 (DAAs in Hamamatsu-Study II genotype II)</td> </tr> <tr> <td>E15-301</td> <td>Direct-acting Anti-viral Agents(DAAs)による Interferon free regimen の抗ウイル</td> </tr> </tbody> </table>	研究番号	研究課題名	EG14-098	ウイルス性肝疾患における宿主因子およびウイルス因子と病態および治療効果との関係についての検討	E15-299	Direct-acting Anti-viral Agents(DAAs)による Interferon free regimen の抗ウイルス効果および鉄代謝・脂質代謝・肝線維化改善効果の検討(DAAs in Hamamatsu-Study II genotype I)	E15-300	Direct-acting Anti-viral Agents(DAAs)による Interferon free regimen の抗ウイルス効果および鉄代謝・脂質代謝・肝線維化改善効果の検討 (DAAs in Hamamatsu-Study II genotype II)	E15-301	Direct-acting Anti-viral Agents(DAAs)による Interferon free regimen の抗ウイル
	研究番号	研究課題名									
	EG14-098	ウイルス性肝疾患における宿主因子およびウイルス因子と病態および治療効果との関係についての検討									
E15-299	Direct-acting Anti-viral Agents(DAAs)による Interferon free regimen の抗ウイルス効果および鉄代謝・脂質代謝・肝線維化改善効果の検討(DAAs in Hamamatsu-Study II genotype I)										
E15-300	Direct-acting Anti-viral Agents(DAAs)による Interferon free regimen の抗ウイルス効果および鉄代謝・脂質代謝・肝線維化改善効果の検討 (DAAs in Hamamatsu-Study II genotype II)										
E15-301	Direct-acting Anti-viral Agents(DAAs)による Interferon free regimen の抗ウイル										

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	ス効果および鉄代謝・脂質代謝・肝線維化改善効果の検討Ⅲ (DAAs in Hamamatsu-StudyⅢ)
E16-287	Direct-acting Anti-viral Agents (DAAs)による Interferon free regimen の抗ウイルス効果および鉄代謝・脂質代謝・肝線維改善効果の検討Ⅳ (DAAs in Hamamatsu-StudyⅣ)
E17-253	Direct-acting Anti-viral Agents(DAAs)による Interferon free regimen の抗ウイルス効果および鉄代謝・脂質代謝・肝線維化改善効果の検討Ⅴ (DAAs in Hamamatsu-StudyⅤ)
E19-020	前治療歴を有するC型慢性肝疾患患者への直接作用型抗ウイルス薬の効果の検討
E19-021	C型非代償性肝硬変患者への直接作用型抗ウイルス薬の効果の検討
<p>3) 2014年11月から2023年12月までに非アルコール性脂肪性肝疾患（現在は代謝異常関連脂肪性肝疾患と呼ばれています）と診断され、別の研究（研究番号E14-213「非アルコール性脂肪性肝疾患の病態と治療に影響を与える因子の検討」）に参加し血液・肝組織が採取・保存されている患者さん各100名</p>	
<p>●研究の目的 C型肝炎、代謝異常関連脂肪性肝疾患などの慢性肝疾患は肝臓の線維化の進行、門脈圧亢進症、肝臓の発癌を引き起こすことが知られています。 この研究ではヒトの血液中、肝臓中にあるネプリライシン（NEP）という分子を測定し、肝臓の線維化、門脈圧亢進症、肝臓の発癌と関連しているかどうかについて調べます。そしてNEPがどのような肝疾患のバイオマーカーとして役立つかについて明らかにします。</p>	

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>●研究の期間 研究機関の長による実施許可日 から 2028 年 1 2月まで</p>
	<p>●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日</p>
	<p>●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。</p>
<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報 情報：病歴、治療歴、臨床検査結果、血液検体および肝組織検体の整理番号等 試料：血液、肝組織</p>
<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名 浜松医科大学医学部附属病院 川田一仁</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>●研究責任者 浜松医科大学医学部附属病院肝臓内科 講師・診療科長 川田一仁</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	場合は開示いたしません。また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。
《問い合わせ先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 部署名： 内科学第二講座 担当者： 川田一仁 TEL： 053-435-2263（平日9時から17時まで）